

事務事業名	社会福祉協議会活動支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠
政策名	06 誰もが自立し、社会参加できる福祉環境づくり	所属部門	住民福祉部 保健福祉課	福祉グループ
施策名	14 地域で支え合う福祉社会の実現	課長名	江口 久子	担当者名 西田 昌樹 (内558)
基本事業名	3312 地域福祉活動体制の整備	予算科目	会計 1 3 1 2 事業	社会福祉協議会活動支援事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり	<input type="checkbox"/> 男女共同参画	<input type="checkbox"/> 食のまちづくり	環境 次世代
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 不明 年度 ~) (年度 ~ 年度)			

事業概要	芽室町社会福祉協議会の法人運営費・事務費・人件費・事業費の一部を補助する。	全体計画 (単位:千円)	特定財源 一般財源 その他 事業費計 (A) 正規職員従事人数 人件費計 (B) トータルコスト(A)+(B)
------	---------------------------------------	--------------	---

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 芽室町社会福祉協議会から法人運営費・事務費・人件費・事業費の一部の補助申請を受け、町は内容を審査し補助する。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 補助した金額 千円 イ ウ
17年度計画 平成16年度と同様	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 芽室町民 人 イ ウ
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 全ての町民	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 社協の事務事業数 事業 イ ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 充実した福祉社会の施策をきめ細かく推進することができる。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 社協活動に協力した方の数 人 イ ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) 誰もが安心して暮らすことのできる福祉社会の実現。	

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th>14年度 (実績)</th> <th>15年度 (実績)</th> <th>16年度 (実績)</th> <th>17年度 (見込)</th> <th>18年度 (目標)</th> <th>19年度 (目標)</th> <th>年度 (最終目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特定財源</td> <td>千円 0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円 19,379</td> <td>19,704</td> <td>16,744</td> <td>17,266</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円 0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>千円 19,379</td> <td>19,704</td> <td>16,744</td> <td>17,266</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>人 3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>千円 0</td> <td>0</td> <td>77</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円 19,379</td> <td>19,704</td> <td>16,821</td> <td>17,266</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>ア 千円 19379</td> <td>19704</td> <td>16744</td> <td>17266</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>対象指標</td> <td>ア 人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>ア 事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上位成果指標</td> <td>ア 人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	年度 (最終目標)	事業費								特定財源	千円 0	0	0	0				一般財源	千円 19,379	19,704	16,744	17,266				その他	千円 0	0	0	0				事業費計 (A)	千円 19,379	19,704	16,744	17,266	0	0	0	人件費								正規職員従事人数	人 3	2	2	2				人件費計 (B)	千円 0	0	77	0	0	0	0	トータルコスト(A)+(B)	千円 19,379	19,704	16,821	17,266	0	0	0	活動指標	ア 千円 19379	19704	16744	17266				対象指標	ア 人							成果指標	ア 事業							上位成果指標	ア 人						
単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	年度 (最終目標)																																																																																																										
事業費																																																																																																																	
特定財源	千円 0	0	0	0																																																																																																													
一般財源	千円 19,379	19,704	16,744	17,266																																																																																																													
その他	千円 0	0	0	0																																																																																																													
事業費計 (A)	千円 19,379	19,704	16,744	17,266	0	0	0																																																																																																										
人件費																																																																																																																	
正規職員従事人数	人 3	2	2	2																																																																																																													
人件費計 (B)	千円 0	0	77	0	0	0	0																																																																																																										
トータルコスト(A)+(B)	千円 19,379	19,704	16,821	17,266	0	0	0																																																																																																										
活動指標	ア 千円 19379	19704	16744	17266																																																																																																													
対象指標	ア 人																																																																																																																
成果指標	ア 事業																																																																																																																
上位成果指標	ア 人																																																																																																																

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 町が行なうべき福祉事業の一部を芽室町社会福祉協議会が行なうことに対して相当分を補助している。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 経済的支援の福祉から、自立を促す福祉へと変化している。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 特になし。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由]	[理由] ↘	3 改革・改善方向の部へ	行政では手の届かない細かい部分まで社協事業により実現されている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由]	[理由] ↘	3 改革・改善方向の部へ	町の福祉施策の補完的業務を実施しているため、今後も必要と考える。
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [理由] <input type="checkbox"/> 適切である [理由]	[理由] ↘	3 改革・改善方向の部へ	拡大：意図を拡大・充実することにより、事業に携わる者が福祉の受け手側だけでなく全町民に広がれば担い手も増え成果向上は可能。 縮小：意図の縮小は難しいと考えるが、事業費・人件費の削減することは可能。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] <input type="checkbox"/> 余地がない [理由]	[原因] ↘	3 改革・改善方向の部へ	もっと多くの町民の方を取り込むことで、事業に携わる者が福祉の受け手側だけでなく全町民に広がり、結果、担い手も増え成果向上は可能。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↘ 【問題解決策】 ↘ 3 改革・改善方向の部へ			一部の事業活動はできなくなり、現在の社協職員数を保持することができなくなるにより事業数の減、地域福祉活動の衰退へつながる。問題解決として、社協自身の自主財源の確保、職員賃金の削減が考えられる。
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↘ [理由]			きめの細かい福祉施策を実施できる社会福祉法人は社協以外にない。
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↘ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↘ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】			
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↘ 【問題解決策】 ↘ 3 改革・改善方向の部へ			今のところ社協が他の収益事業が見込めないため事業費削減は社協事業の減少か人件費削減、職員減少につながる。
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↘			ほとんど所要時間の無駄はない。事業活動としては最低限の活動時間と考える。
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↘			社協自身が何らかの収益事業を模索する。

3 改革・改善方向の部(PLAN)																							
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果																						
予算を削減し、社協の経営努力により現状を維持してもらう。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
低下		×	×																				
(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？ お金のかからない事業展開と、町が自ら福祉意識の高揚に力を入れる。																							